

お取り寄せ

味の

栗のペーストやブルーベリーのジャムを使ったカステラ生地のお菓子。横浜市の「ありあけ」が2015年に「横濱ハーバー」シリーズの期間限定商品として販売し、今年6月から地元神奈川産の素材を使った新商品として発売した。

ハーバーは1954年に栗のペーストをカステラ生地で包んだ焼き菓子として誕生。当初は「ロマン」という名称だったが、商港・横浜のイメージや船をかたどったデザインから、66年に「ハーバー」に改名

ブルーベリーハーバー

* ありあけ * 注文は電話(0120・421・900)、同社サイトで。送料は別途必要(サイトで注文した場合、7000円以上で無料)。



看板商品は「横濱ハーバーダブルマロン」。刻んだ栗や栗のペーストをカステラ生地に入れて包んだ。8個入り



りで1425円(税込み)など。

パッケージの目印は帆船「日本丸」のイラスト。口に入れると、ブルーベリーの香りや甘酸っぱさが広がり、栗の甘さも楽しめる。生地には抹茶が練り込まれ、紫と緑の色合いもきれいだ。

6個入りで1296円(税込み)など。

し、横浜土産の定番となつた。製造会社が99年に倒産し、一時は姿を消したが、市民らから再発売を望む声

が出て、現在の「ありあけ」が権利を引き継ぎ、2001年に復活した。当初の「ブルーベリーハーバー」は、主人公が横浜

土産の定番甘酸っぱく

などでお菓子作りに励む姿が描かれたNHK連続テレビ小説「まれ」とのコラボレーション(協力)商品。15年に石川産ブルーベリージャムを使って期間限定で販売したところ、その後も購入を望む人が多く、神奈川産のブルーベリージャムに変えて発売された。